

講演会「町内自治会への移行・校区自治協議会設立に向けた取り組み」

平成 26 年 4 月の移行・設立に向け、合併の先輩である旧北部町川上校区の自治協議会事務局長加藤貴司氏による講演会が 8 月 26 日（金）アスパル富合ホールで開催され、約 70 人が出席。加藤氏は「合併当時は戸惑いもあったが、校区住民のみんなに『ここに住んでよかった』『ここに生まれてよかった』と思っただけの地域をつくりたいと取り組みが始まった」と熱く語られました。次の項目についても具体的な説明がありました。



加藤 貴司氏
川上校区
人口 10,077 人
世帯数 3,919 戸

①校区自治会の組織 ②町内自治会の組織 ③運営計画（事業）と予算 ④校区の負担金について
また、「川上校区ふれあい夏祭り」は今年で第 13 回目。8 月 6 日に実施。祭りの準備から当日の役割まで校区あげての取り組みの様子を話していただきました。それにしてもバザーの準備は焼きそば 1,000 皿、焼きイカ 500 枚、生ビール 700 杯、カレーライス 1,200 皿、綿菓子 400 本等々 21 種。花火も業者に頼らず 16 万円で実施とか。来年の夏祭りにはみんなで行かなくっちゃ!!

その他の事業として校区スポーツ大会・校区敬老会・防犯パトロール・ハイキング等があります。「富合町は 1 校区ですね。一番いいまちづくりが出来るのでは。校区自治会は地域住民が主体となって設立すべきです。住民の何方かが音頭をとって取り組んでいきませんか」と富合町にエールを送っていただき講演会は終了。川上音頭も紹介していただきました。ありがとうございました。

富合の若い力

第 60 回全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に 3 人が出場、平成 23 年 8 月開幕した大会で活躍した富合町の高校生 3 人を紹介します。

ボート競技

岩手県花巻市田瀬湖で行われた「女子かじ付 4 人スカル」で熊本学園大附属高校が優勝。スカル種目はオールを一人が二本持って漕ぐもので、そのボートの舵手をつとめたのが村崎早也加さん（榎津）。ボートの指揮者です。村崎さんの喜びと決意の言葉です。「決勝本番はチームの代表、学校の代表、県の代表として、たくさんの人の思いをボートに乗せ、楽しくレースをすることが出来ました。もう一度あの感動を味わえるように国体も頑張ります」



メダルを手に

柔道（少年女子）



秋田県立武道館で行われた柔道競技の個人戦 52kg 級に出場したのは高森友梨さん（阿蘇高校 3 年、大町）。1 回戦は優勢勝、2 回戦は残念ながら判定負け。

8 月 21 日開催の九州ブロック国体では、団体戦に先鋒として出場。B ブロックで福岡、大分、沖縄の 3 県に勝利し、決勝戦では A ブロック 1 位の鹿児島県に勝利し代表県に。「インターハイで実力が発揮出来ず悔しかった。国体では優勝を目指します」と話す笑顔は自信にあふれ、さわやかでした。中学 1 年で始めた柔道は「創心館」で基礎が出来ていったのでしょうか。

サッカー

村上 順哉君（大津高校 2 年・国町）はインターハイに続き、九州ブロック国体、天皇杯県決勝戦で活躍。天皇杯での背番号 15 はテレビでその活躍が放映され、富合の楽しみが増えたのではないのでしょうか。今回は取材できませんでしたが、まだ 2 年生。楽しみにしましょう。

※富合町体育協会は、各大会への出場を横断幕で地域住民へ紹介し応援しています。

